

公の施設指定管理制度導入に対する評価

評価期間:令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名	徳島市生涯福祉センター		
指定管理者	有限責任事業組合 リフレ	担当課	健康福祉政策課
指定期間	R2.4.1～R7.3.31	公募・非公募の別	公募
施設の所在地	徳島市沖浜東2丁目16番地		・健康判定及び健康増進 ・各種講座、講演会等の開催 ・福祉相談等に関する業務 ・施設の利用承諾・維持管理等に関する業務
施設の概要	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階(一部4階) (健康判定・屋内運動室、健康保養浴場、各種会議室、情報コーナー等)		

	項目名	令和4年度	令和5年度	項目名	令和4年度	令和5年度
利用状況に関する こと	入館者数	439,825人	502,891人	自主事業参加人数	1,015人	2,295人
	健康判定・健康増進事業利用者数	66,432人	69,738人	事業開催数	208回	189回
	会議室等利用件数	5,810件	5,797件			
収支状況に関する こと	指定管理料	198,000千円	198,000千円	人件費	70,582千円	71,343千円
	利用料収入	110,869千円	115,630千円	管理費	180,714千円	177,868千円
	その他収入	23,659千円	16,385千円	その他	80,952千円	80,804千円
	収入実績(総額)	332,528千円	330,015千円	支出実績(総額)	332,248千円	330,015千円

評価基準・評価項目		指定管理者自己評価コメント	担当課評価
施設管理 体制	(1) 法令等遵守	<ul style="list-style-type: none"> センター条例等の関係法令の遵守は、適正に行われている。 職員配置は、提案書に規定しているとおり適正に行われている。 定期的に職員研修を実施し、人材育成に努めている。 イベント、ホームページ等の広報のほか、フリーマーケット等のイベントを実施し、施設の利用促進に努めている。 安全かつ効率的な運転並びに保守点検、部品交換等を行い、事故やトラブルの防止に努めている。 各種感染症対策の実施、年2回の防災訓練を実施している。 	A
	(2) 職員配置		
	(3) 職員研修		
	(4) 利用促進の取組み		
	(5) 設備・備品管理		
	(6) 安全管理体制		
	(7) 緊急時の体制		
利用者に関する 業務	(1) 利用状況	<ul style="list-style-type: none"> センター条例に基づいた利用の承諾等は、適切に行われている。 利用者本位の観点に立った受付案内業務が、適切に行われている。 情報公開規定を作成し、適切に運用されている。 	A
	(2) 平等な利用		
	(3) 利用料金		
	(4) 接客対応		
	(5) 個人情報保護		
	(6) サービス向上の取組		
管施設 業務維持	(1) 保守点検業務	<ul style="list-style-type: none"> 設備等の保守点検業務は、定期的実施できている。 清掃・修繕等の維持管理業務は、適切に行われている。 	A
	(2) 清掃等維持管理業務		
	(3) 修繕等維持管理		
事実 事業	(1) 企画運営事業	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策等を実施した上で、安心・安全な事業実施に努めている。 	A
	(2) 自主事業		
経理 状況	(1) 施設収支状況	<ul style="list-style-type: none"> 市民サービスの低下がないよう努めつつ、職員の生産性向上とコスト管理の徹底により人件費、光熱水費及び各事業費の削減を進めている。 各事業の集客に力をいれて、収支の改善に努めている。 	A
	(2) 指定管理者経営状況		
	(3) 経費の縮減		
評価基準	S:優れている(協定書、仕様書、事業計画書より優れた管理が行われた。) A:適正に管理されている(協定書、仕様書、事業計画書に沿った管理が行われた。) B:一部に改善を要する(協定書、仕様書、事業計画書に記載の一部が実施されなかった。) C:多くに改善を要する(協定書、仕様書、事業計画書に記載の多くの内容が実施されなかった。)		

担当課総合評価コメント		総合評価
新型コロナウイルス感染症が5類に切り替わり、入館者数・自主事業参加人数ともに増加する中で、光熱水費及び各事業費の削減を進めながら継続的な事業実施に努めたほか、協定書・事業計画書に基づき、徳島市子ども未来部等の館内機関との連携を図りつつ、適正な施設管理運営が実施されていることから、A評価とした。		A
総合評価基準	S:優れている(各評価基準ごとの担当課評価にSがあり、その他はAである。) A:適正に管理されている(各評価基準ごとの担当課評価が全てAである。) B:一部に改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にBがあり、Cはない。) C:多くに改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にCがある。)	